新技術概要説明資料(1/5)

						登銀	录No.	10	626
h 41.				収受受付年月日		平成29年10月10日			
名称	GlasGrid®(グラスグリッド)				変更受付年月日		1 130,23	107110 [
10日本								T. Dog f	
副題	リフレクションクラック抑制シート					開発年		平成27年	丰10月15日
区分	□1. 工法 □2. 機械 □3. 材料 ■4. 製品 □5. その他				番号:			4	
<u></u>									
分類		装工							
キーワード	□ 1. 安全・安心 ■ 5. 公共工事の品質確保・向上						5		
	□2.環境		■ 6. 景観					6	
	□ 3. 情報化 □ 7. 伝統・歴史・文化						8		
	□4.コスト縮減・生産性の向上 ■8.リサイクル					番号:			
国土交通省へ	申請地方整備局名 登録年月日		登録年月日	登録番号		評価(事前・事後)		事後)	
の登録状況	関東地方整備局 平成28年10月28日		KT-160100-A						
	□1. 省人化 ■5. 耐久性向上 □9. 地球		*環境への影響抑制			5			
開発目標			□10. 省資源・省エネ		ルギー		11		
(選択)			□7. 作業環境の向上					12	
			□8. 周辺環境への影響抑制			Ŀ.	番号:		
	従来技術名:		不織布系リフレクション						
	1. 経済性	1 1.	向上 (6%) □2. 同程度		下 (%)	番号:	1	(6%
	2. 工程	■ 1.	短縮(20%) □2. 同程度	∃3. ±	曽加(%)	番号:	1	2	20%
活用の効果	3. 品質・出来型 ■1. 向上 □2. 同程度 □3. 低下			番号:	1				
	4. 安全性 □1. 向上 ■2. 同程度 □3. 低下			番号:	2				
	5. 施工性 □1. 向上 ■2. 同程度 □3. 低下				番号:	2			
	6. 環境 □1. 向上 ■2. 同程度 □3. 低下 7. その他 □1. (定義済みの値なし)				番号: 番号:				
開発体制			(足義 <u>術が</u> が <u>にな</u> し)]研究(民民) □2(2)共同研究	空(足庁)	□2(3) #同研				1
							番号:		
開発会社	サンゴバン株式			クノハラ					
			名:		住所:東京都		「宿1−1−11		
			株式会社アークノハラ 友泉新宿 節署: TEL:			03-3357-2442			
			<u> </u>		03-3357-2442				
			者名: 1688000 mail:				sa@nohara-inc.co.jp		
問合せ先			奈佐 晃司						
	会社				『新宿区新宿1-1-11				
					友泉新宿御苑 ************************************				
		-	音部署: TEL:			03-3357-2442 03-3355-0639			
							3355-0639 aki-vasuda@nohara-inc.co.jp		
	1 1 1		安田英明		Tracant yacaaagnonara me. se. p				
	1) 何について何をする技術なのか?								
	ガラス繊維グリッドを使用したリフレクションクラック抑制シートです。舗装劣化の原因と								
	なるリフレクションクラックを抑制することでアスファルト舗装の修繕にかかるライフサイクルコストな低減します。								
(概要)	ルコストを低減します。 2) 従来はどのような技術で対応していたのか?								
	従来は不織布系リフレクションクラック抑制シートで対応していました。								
	3)公共工事のどこに適用できるのか?								
	アスファルト舗装工、道路維持修繕工に適用 4) その他								
	4) ての他 - 道路改良・新設時または道路修繕において、路盤直上、アスファルト切削面・平滑面、コン								
	クリート床板上等、敷設層を問わず施工可能です。								

新技術概要説明資料(2/5)

新技術名称 GlasGrid® (グラスグリッド) 登録No. 1626

(特 徴)

(長 所)

- ・従来製品と比較し引張強度UP、伸長率低減のためリフレクションクラック抑制効果が向上している。
- 路盤直上に敷設可能。
- ・リフレクションクラック抑制効果が向上したことによりアスファルト舗装のクラック破損・耐久劣化が抑えられ長寿命化につながる。
- ・切削時に発生するアスコンガラはリサイクル可能 ※欧米諸国では再生材としてリサイクル実績あり。

(短 所)

・分解促進型タックコート用乳剤について施工に条件がつく製品がある。

(施工方法)

- 1. 道具・機材準備
- 2. 切削箇所墨出し・切削・アスコン殻清掃
- 3. 乳剤塗布
- 4. グラスグリッド敷設
- 5. 合材敷均し・撒き出し・締め固め
- 6. 完了

(1)
)
)

歩掛は自社歩掛

材料単価は建設物価より

施工管理基準資料等

「GlasGrid®施工マニュアル」(自社基準)(別添) 「土木工事安全施工技術指針」、「ネクスコ東日本 土木工事共通仕様書」

	新技術概	既要説明資料(3/5)					
新技術名称	GlasGrid®(グラスグリッ	ド)	登録No.	1626			
	条件) 治具使用の場合W2mの作業 高い範囲として、舗装計画3	,)交通量があるア	スファルト舗装			
	い条件) れている箇所は不可 、強風時での施工は不可						
・敷設時の継	意点) イ時の最低舗装厚は40mmり ぎ手重ね代は横断方向10cn にはGlasGrid®施工マニュア	n、長手方向50 c m					
/ life === 1							
・製品を敷設	用上の留意点) する路面上の埃、粉塵は除ま ト塗布量は規定量を守ってく						
(残された課	題と今後の開発計画)						
・リサイクル ・計画として	において海外実績のみなので 行政・合材プラントメーカー)啓蒙活動				
	験・・・GlasGrid®なしのア]であるのに対			
し、めりは16 (添付資料)	0万周回以上(約3倍)でクラ 	ブックの発現は認められな	:かつた。				
実験資料等							
軸荷重走行試	験・曲げ試験						
その他							
特許	□1.有り(番号:) □2.出	願中 □3. 出願予定 ■4:無	し 番号 特許番号	4			
実用新案	□1.有り(番号:) □2.出	願中 □3. 出願予定 ■4:無	し 番号 新案番号	4			
	建設技術評価制度番号	民間開発建設技術の審査証明番号					
評価・証明	証明年月日	証明年月日	証明年月日				
	制度等の名称	証明機関	証明機関				
	制度等の名称	制度等の名称	制度等の名称				
	制度名、番号	制度名、番号					
その他の 制度等に	証明年月日	証明年月日					
よる証明	証明機関	証明機関					

証明範囲

証明範囲

新技術概要説明資料(4/5)

			月資料(4/5)			
	新技術名称	GlasGrid®(グ	ラスグリッド)	.	登録No.	1626
	実績件数	公共機関:	23	民間:	2	
	発 注 者	施工時期	工事	工事名		登録No.
	静岡県沼津市役所	2016/2/25~ 2016/5/27	沼津岡南一色線舗装補修工事		0014	
	熊本県八代市役所	2017/1/26~ 2017/3/15	毘舎丸町上片町線舗			
	佐賀県東部土木事務所	2016/8/6~ 2016/12/22	北茂安三田川線 道路橋梁保全工事(舗装補修工事)			
	岐阜県加茂土木事務所	2016/7/26~ 2016/11/10	国道248号線跨線橋高	改修工事		
施工実績	常陸大宮土木事務所	2016/8/10~ 2016/11/15	県単道修(第28-52-3 装修繕工事	324-0-001号)舗		
	神奈川県川崎市役所	2016/9/18~ 2016/11/23	市道中原5号線舗装	補修(切削)工事		
	西日本高速道路株式会社	2015/1/27~ 2016/9/17	H26年度大分自動車 路事務所管内舗装補			
	千葉県匝瑳市役所	2016/5/12~ 2016/7/1	舗装補修工事			
	大阪府富田林市役所	2015/12/25~ 2016/3/22	金剛中央線舗装工事	Į.		
	青森県八戸市役所	2015/9/15~ 2015/11/22	白浜鮫停車場線道路 バーレイ)工事	·修繕(切削オー		

新技術概要説明資料 (5/5)

新技術名称 GlasGrid® (グラスグリッド)

登録No.

1626



施工中(敷設)



施工中(敷設)



施工中(敷設)



施工中(敷設)



表層舗設



製品近接(GGシリーズ)